

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究費

事業名 【新】岐阜県健康科学センターヒートポンプチラー改修工事設計費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係 電話番号：058-380-2100

E-mail：c22641@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,566 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,566	0	0	0	0	0	0	1,400	166
決定額	1,566	0	0	0	0	0	0	1,400	166

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県健康科学センターの空調設備は、一般空調とは別系統の空調が設置されており、研究所棟1階の環境測定室・放射性核種分析室、4階の恒温恒湿実験室、5階の遺伝子解析実験室・安全実験室は、特殊空調ヒートポンプチラー(CU11, CU12)により冷暖房を行っている。しかし、設備の設置から26年経過しており、頻繁に不具合が発生している。

ヒートポンプチラー(CU11)のバックアップとして(CU12)を稼働していたが経年劣化により不具合があり、使用ができない状態である。そのためヒートポンプチラー(CU11)のみを稼働させていたが、令和7年6月に故障し関係している部屋が高温状態となる事態となった。不具合の度に修理を行っているが、一時的な対処であるため根本的解決はなされていない。

健康科学センターでは、適正な温度管理が必要な薬品・細菌・機器等を多数保管しており、空調機能の低下は薬品の品質や機器の故障につながる恐れがある。また、職員にも影響を与えかねない。

ヒートポンプチラー(CU11, CU12)は岐阜県健康科学センター開館以来稼働し続けており、何度か修理をしてきたが、交換部品の在庫もなく修理も難しくなっており、全面改修工事をする必要があるが、これを発注するためには、実施設計が求められる。

(2) 事業内容

既存のヒートポンプチラー(CU11, CU12)改修工事に係る実施設計

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	1,566	ヒートポンプチラー (CU11, CU12) 改修工事実施設計委託料
合計	1,566	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担
単年事業

(4) 事業主体及びその妥当性
県有施設である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度中にヒートポンプチャラー（CU11, CU12）の改修工事設計を委託し、工事を発注できる状態にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

施設の維持管理に係る経費のため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p style="font-size: small;">指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="font-size: small;">指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p style="font-size: small;">指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	ヒートポンプチャラー(CU11, CU12)は頻繁に不具合を生じており、健康科学センターの空調機能改善のため、その改修(実施設計委託)が必要とされる。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 竣工後26年が経過しており、設備改修等のオーバーホール等の大規模修繕が必要となる。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	